

# 外国語教育のためのタスクの評価・開発

**キーワード：** 第二言語教育 日本語教育 英語教育

人間文化創成科学研究科 言語文化学系 専門分野 第二言語習得論 佐々木嘉則

E-mail: [sasaki.yoshinori@ocha.ac.jp](mailto:sasaki.yoshinori@ocha.ac.jp) URL: <http://jsl2.li.ocha.ac.jp/kyookanHP/yoshi/>

TEL:5978-5214

タスクを通じて外国語を学ぶことは、現実場面に近い条件でコミュニケーションを練習する上でも有効です。では、どのようなタスクを、どのような学習者に対し、どのような状況で用いれば最も効果があがるのでしょうか？その分析のために好適な枠組みが、心理言語学研究に基づいて提案されています(Loschky & Bley-Vroman, 1993)。

## タスク分析の4つの軸

- 産出か、理解か
- 反応の自由度は大か、小か
- 目的は自動化か、仮説構築か
- ターゲットとなる表現はタスク遂行に不可欠あるいは有効か



- このテーマに関する  
ワークショップの実施実績
- 海外(香港・韓国)
  - 国内(現職教師研修等)